

女

佐々木信綱

病いえていでゆを歸る少女子の

馬につけたり山百合のはな

村長のはなよめ君のさとがへり

荷馬ついできてはるの風吹く

夫やみて沖にいでがたしいつより

松魚つる舟はほさこのころ

春の歌の中に  
ろする

今朝みれば庭の櫻もちりはて、

昨日にかはるあを山のと

春興  
秋影

樂しきは幼き子らを引きつれて

すみれつみにと野に出でし時

看護婦  
印東音鳴

やみし人の只何よりうれしきは

みとりする人の情なりけり

説林

動物愛憐と教育

本多増次郎



今日、皆さんの前に出て、御話する事を得ます  
るは、私のまことに光榮とする所で御座ります、  
併しながら、私は皆さんに向つて御話をする様な、  
専門的の智識は御座りませぬのです、只だ一つ従  
来研究して居ります所が御座りますから、本日  
は夫に付いて御話を致して見たいと考へます。  
夫は即ち動物愛憐と教育といふことであります。

日本の社會に於きましては、誠に不合理な、不  
論理な矛盾なる點が、誠に多く存在して居ること  
は皆さんの御承知の事と存じます。たゞに學校と  
家庭とに於てのみならず、社會全体に於て、思想  
の連絡の存して居らない點が甚だ多い。之等は皆  
何れも吾々教育家の宜しく改革すべき所でありま  
す一例を擧げて見れば、決して在つてならぬ現象

例令ば大人にのみ許すべく、小兒には許すべからざる様な事が、日本の社會に於ては通例許されて居る、小兒が煙草を吸かす様な事は其一例である、其他小兒が大人の様なフロック、コートを着たり大人の様な羽織袴を着用したりする事なども宜しく大人と小兒との間に存在すべき區別であらうと思はれます。尙其他教育上の問題に於きましても随分此の様な事が多い。大人が芝居や、

宴會に子供を連れて行つて、夜更けまでも一所に居たり、夫からして食物と寢所などに於ても宜しく存在すべき區別がない様に思はれます。

夫から、之を大にしては、學校騒動、生徒がストライキをして學校を騒がせる様なこと、これなども決して、あつてはならぬことでありますが、この學校騒動といふことなどは、これは當時の政治社會の弊風が、學校に遷つた弊害かと思ひます尙其他教育上に於きまして、思想の連絡がないことを申しますれば、例令ば家庭に在る間は、宗教だとか、神話であるとか、童話であるとか苟くも形以外、小兒の想像以外に亙る話は少しも子供に教へないで置いて、そして學校とか幼稚園とかへ行くと、俄に此様な話を聞かされることにならる。だからして小兒は、今迄少しも聞かされた事

のない話を先生から俄に聞かされて、果して先生  
 のいふ事が眞實であるか、どうかと疑ひ迷ふ様に  
 なります、家庭に在りては、極めて不規律であつ  
 たのが、學校に行つて俄に嚴格なる規律の下に服  
 すること、これ等も皆其例であります、夫からも  
 一つ間違つた考といふのは、多く學校は受動的で  
 あつて、社會は加動的だとの考があります、學校  
 は吾々の受くる所であつて、社會は吾々の進んで  
 働く所だと考へる。併し、學校は獨り受くる働の  
 場所ではない、社會と同じ様に矢張進んで働く所  
 でなければならぬ筈である。其他、愛國を間違て  
 外人排斥であるなどと考へることなども、同じく  
 思想の矛盾といはねばならぬ。我國に於きまして  
 は、随分法律規則などが設けられます、併し幾ら  
 法律規則が設けられるにした所が、之を受ける土

臺がない時は、駄目でせう、規則を守る事の出來  
 る人間が出來て居なければならぬ。則ち政府と人  
 民との間に連絡がなくてはならぬ。國際間に於て  
 も、互に權謀術數を用ゐて他を陥れんとするが如  
 きも、皆之れ存在すべからざる現象である。

人間の動物に對する關係も確に、其中の一であ  
 ります、動物を憐むことを教へずに於て、女子に  
 對する徳を教へようとするのは、これは實に思想  
 の聯絡が缺けて居るといはねばなりません。人間  
 よりも弱いもの、人間よりも遙に憐れなる動物に  
 對して愛憐の情のないものが、どうして男よりも  
 弱い女に對する徳が守れませうか、動物に對して  
 憐の心なくして、如何でか、人類を憐むことをな  
 す人がありませうか。

今、日本及世界に於て、所謂動物虐待と稱する

ものが果してどれ程存在して居ますか。學問の研究と稱する貴き名前のもとに、何如に多くの可憐なる動物が、殘酷極まる待遇を受けて居ませうか、彼等は生きながら脊中を針で通されて居ます。或は生きながら、皮を剥がれて解剖せられます。其他小供が、罪もない蛙に石を投げ附けては楽しんで遊び、或は蜻蛉を糸に縛つて見たり虫の身體を半分に切つて、其半分に棒切れを挟し込んで弄んで居る。誰か之を殘虐ならずといひませうか、料理の仕方に於きましても随分苛いと思はせるのがありませう、料理人が生きたる鳥を倒さにして運んだり、夫から生きながら鳥の咽喉から血を出す様な料理の仕方が有る相です。又釣をする人が蚯蚓を餌にして魚を釣るのも随分酷です。生きながらの体中に針を通して、久して之を水中で苦し

めるではありませんか、西洋では近來釣をするに一旦沸湯をかけて其餌を殺して置いて、夫から釣針に通す様な事をして、少しでも之に苦しみを與へない様にするです、夫から金魚などを瓶へ入れて、其不自由なのをも構はないで之を楽しむ様な事をします。近來は又射的會なといふものか、出來まして、山野に入つては、鳥獸を追ひ廻はして之を射て取る様な事も、大人間の樂しみになつて居ます、外國に在りましても、婦人の帽子の裝飾などに用ふる爲めに、種々な熱帶地方の動物が殺されることは、眞に數知れません。然し日本では、未だ此様なことは餘りありませんが。牛や馬などの家畜に於きましても随分虐待せられることが有る。荷物を運搬する時に、どれ程車を引く馬が虐待せられて居るかは御存じでせう。日本に於いて

到底想像も附かん事ですが、西洋に於て、よく比邊に注意する人は、冬の寒い時など、馬に轡を解めるにも、之を温めてやる相です。馬の口は至極柔でして、非常に感じが鋭いのですから。夫で注意するのです。私どもは床屋に行きまして、冬の寒い時に頭を、彼の冷たい器械で以て、ジャキ／＼と苛られます、これは實に心地の善くないものですが、馬だといつても矢張同じだらうと存します。其他馬を御するに致しても、無暗に鞭を加へたり、無暗に手綱をシャクツたり勞れたる馬に乗り、瘠せたのも構はずに使役します、新しい厩に馬を入れる時でも、注意の足りない爲めに、光線の不足とか、寒さの爲めとかで、苦しませられることが。随分多からうと考へます。

一言で申しますと、自分の受くる苦痛を自ら訴

ふる事能はざるものに對して、吾々が同情を表することが甚だ少いのである。其位置に吾々の身を置いて考へる、思いやるといふ事のないのが、缺點です。これが社會人心に及ぼす所の弊害は如何これ實に吾々の考へるべき問題でありませぬか。

一体同じく虐待といふ中にも二種に見ることか出来る。一は表面に顯はれて誰でも憐れと思ふものと、他の一は裏面に隠れて居つて一寸見えないものとである。動物の方から見ると、例令表面に顯はれて居るにしても其割合に苦しくないかも知れない。例令て見ますれば西班牙國の闘牛の様なもの、即ち牛が非常に怒りて互に傷つけ合つて闘ふ時の苦痛は、病氣で以て死ぬる時の苦痛に比ぶれば反つて其度が軽いかも知れない。同じ人間にして見ても、砲烟彈雨の間に戦つて血を流して死

ぬるのは、外觀は甚だ苦しい様であつても、反つて病氣で苦しんで死ぬ方がつらい事もある。第二種の裏面の方のは、一寸見えないから、吾々の感じが少い。醫者が研究の爲に生きた兔を捕へて之を解剖したり何かすること、之は見えない方の事です。ですから余り吾々は、ひどく感じない。何れにしても、苦しみの多少、見ゆると見えないとを問はず、動物虐待が吾人の道徳的感情に感ずることの多きは明かである。

(未完)



## 寄書

保育上の疑點に就て教を請ふ

横田 鏞

凡そ事物は學理實際相待ざる可らず徒に學理のみに馳せて實際に疎ければ坐上の水練に異ならず。夫れ幼稚園にて授る所の事も近來は文字の讀み書き等は大學廢せられたるが如し其説を考ふるに幼兒に讀み書き等を授るは頭腦を痛め身体に害ありとするものゝ如し是の雜誌の中にも往々散見せしやに思へり成程六ヶ敷文字の讀み書きを授るは左もあるべし併しながら五六歳以上の幼兒にはかな字等の簡易なるものを授け自然に讀み書きの習慣

